

# 2022年度事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(特定非営利活動法人輝きネットワーク)

## 1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の流行が続き、感染力の強いオミクロン株が流行したため、12月前後にメディアかがやきでも感染者が出た。しかし、パーティーなどの方策をとっていたおかげで、広がることなく、休業せずに済んだ。新型コロナウイルス感染症の流行がようやく落ち着いてきて、マスクの着用などの感染対策も緩和の方向となったことで、利用を再開する方も出てきた。一方なかなか体調が戻らず長期に休んでいる方もいる。

作業量も少しずつ回復し、昨年より売り上げが多くなった分、工賃も昨年より多く支払うことができた。尚、1名が就労継続支援A型事業所に移行した。

利用者の状況が多様になり、就労に対する姿勢、技術のスキルアップ、社会とのコミュニケーションの方法など一人一人に合わせて支援が必要となってきた。そのために、スタッフ会議を定期的に行ない、ミーティングでの連絡を密にして対応してきた。利用時間が午前だけだったのが1日利用できるようになったり、日数が増えた利用者もいる。

また、職員の処遇改善を進めるため、特定処遇改善加算を取得し、処遇改善手当や、賞与での改善を図った。

- 1、 スキルアップを図る事業ではアビリンピックに取り組み、今年度も写真撮影競技で全国大会に1名が出場した。アビリンピックに取り組んだことから、写真展の機会を提供してもらうなどのつながりが増えて、アルバイトにつながった。またインスタグラム投稿の仕事にもつながっている。
- 2、 利用状況としてはパソコン部目標9人に対し9人、軽作業部目標4人に対し2.5人、合わせて年間で11.5人であった。

後半アンケート調査の入力作業がだいぶ増えて、メディアかがやきだけでは間に合わず、リハビリセンターとコロニーセンターの一部を外注した。また、山形県の入力作業も受注することができて工賃アップにつながった。軽作業でもリンベルの仕事が定期的に受注できている。

メディアかがやき単独での楽天市場での仕入販売では、さくらんぼ・シャインマスカットを仕入販売を行った。たくさん仕入れることが難しい状況で、すぐに完売してしまった。野菜セットは昨年より競争が激しくなったためか、ほとんど注文が入らず、調理用トマトと里芋に少し注文が入っただけであった。今後の楽天市場の展開も検討

の必要がある。

野菜は、メディアかがやきの駐車場の道路側に棚を置いて直売を行った。チラシを配るとお客様が来てくれるようになった。秋野菜は収穫が遅れ、売るチャンスを逃してしまい、主に職員・利用者を買っていただいた。

ノウフク連携の施設外就労では紅花作業に取り組んだ。11、12月はJA本沢農協で施設外支援に取り組んだ。

その後、共同受注センターの紹介で、山形タクシーの施設外支援に取り組むことになった。

- 3、 新型コロナ感染症流行対策の臨時的措置として在宅利用を認める通知があり、すでに取り組んでいた1名の他に、基礎疾患のある方1名に継続的に取り組んでもらった。これまでテレワーク支援を継続してきたことが活かされることとなった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
小規模作業所・障害福祉サービス・地域生活支援事業等を設置運営する事業	就労継続支援B型事業を運営した。	年間開所 240日	メディアかがやき	5名	26名	26,867